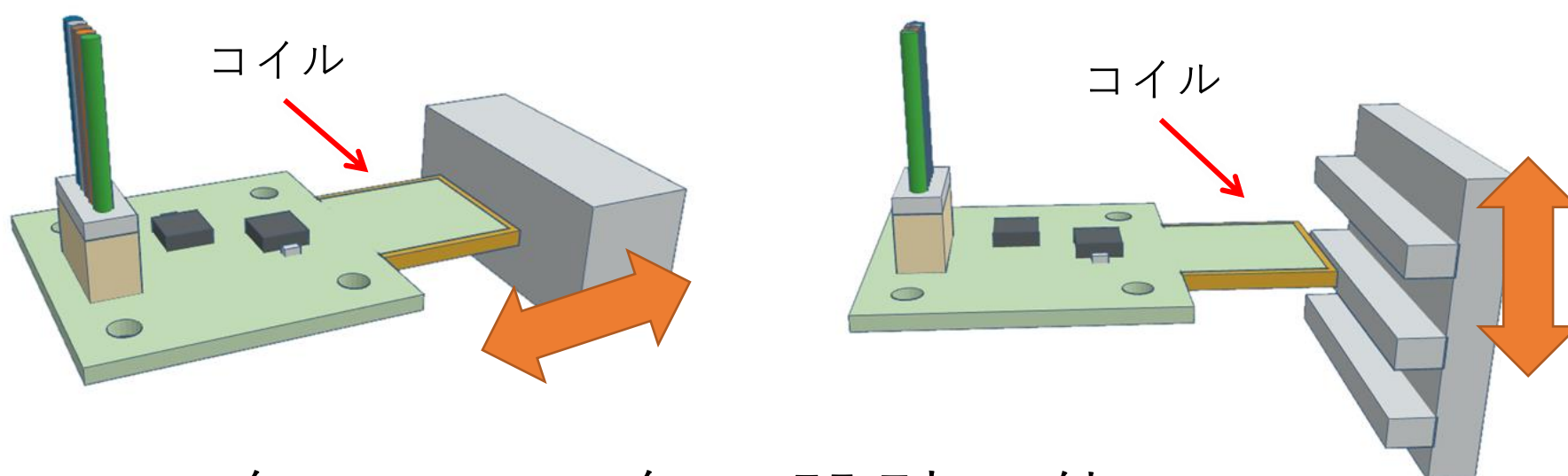


# 設計自由度の高い変位センサ

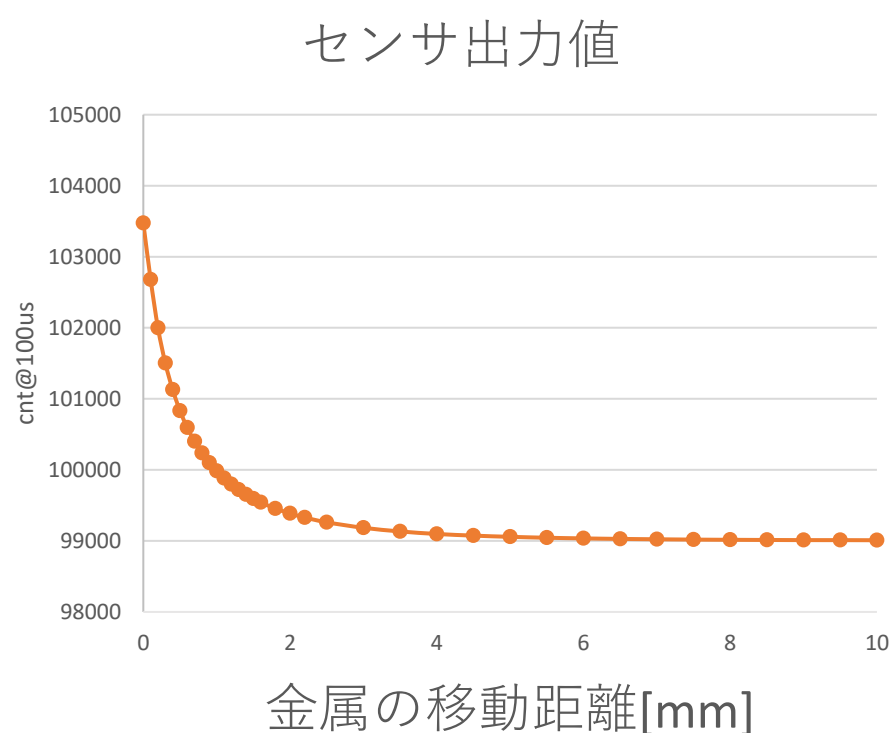
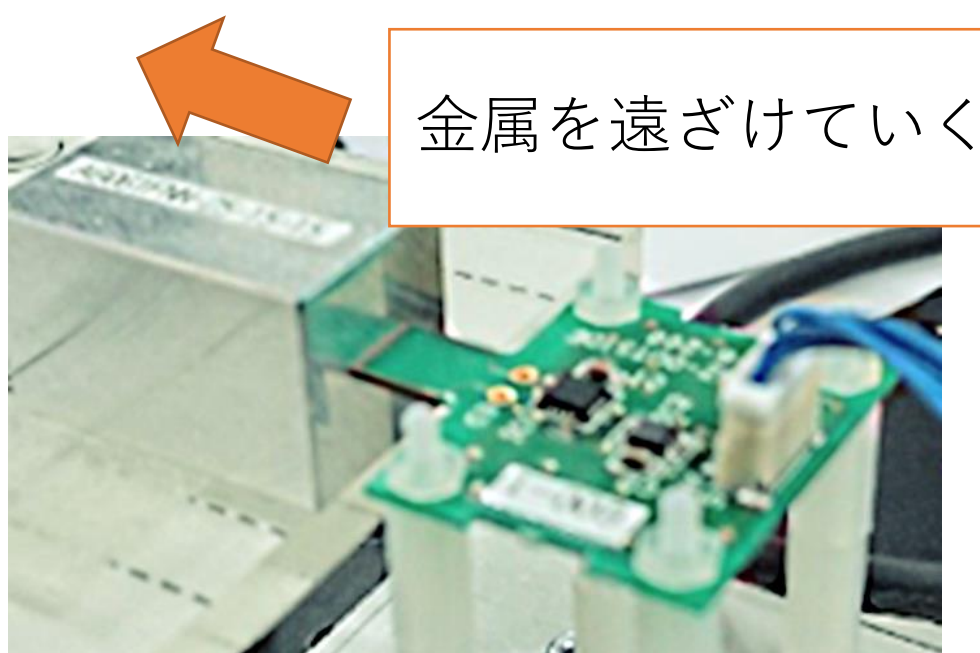
変位センサDS2001シリーズは変位を計測するためにプリント基板上の平面スパイラルコイルを用いてきました。新しい1ターンコイルはスパイラル以外の形状にできるようになったため、従来よりも設計の自由度が高まります。

## コイルパターン1 凸型

コイルを基板側面に配置して凸型にする事で、側面からの金属の接近を計測する事ができます。薄い金属や狭いスペースでの計測に適しています。

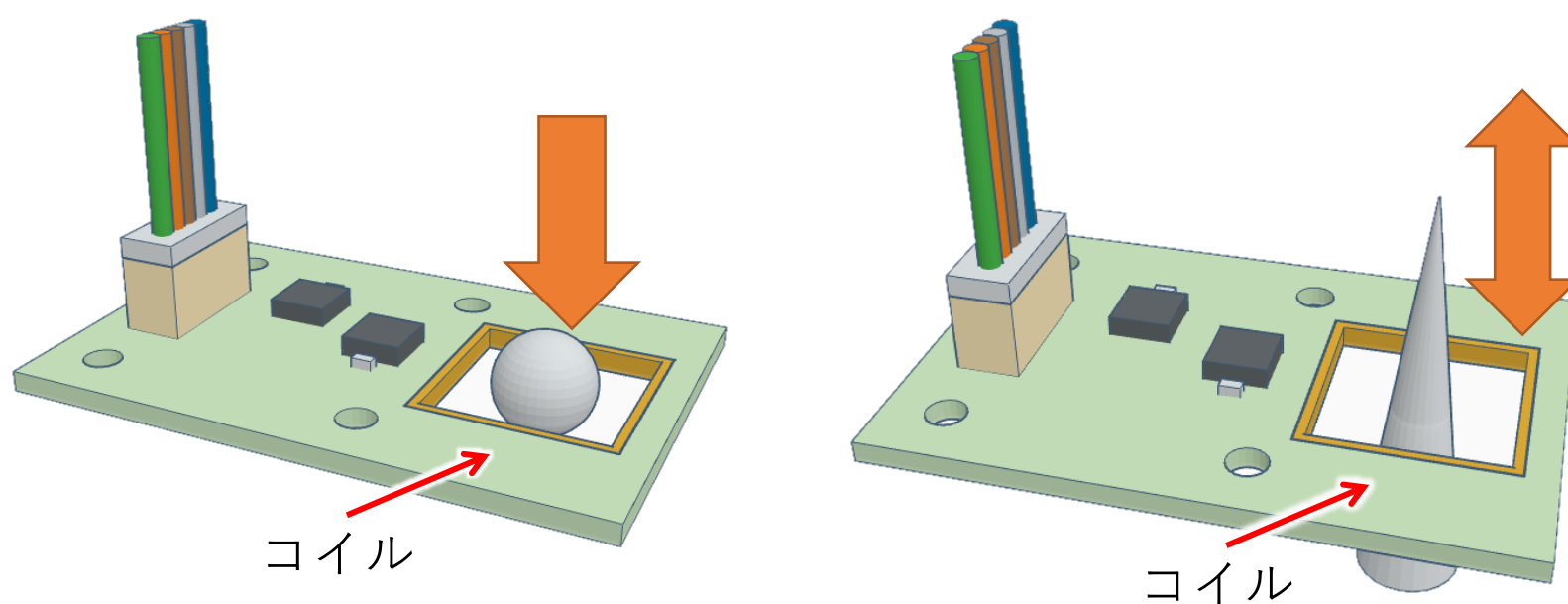


コイルは4mm角～20mm角で設計可能  
正方形以外では長方形、台形の形状も可能  
評価用サンプルは6mm角、3×9mmを用意



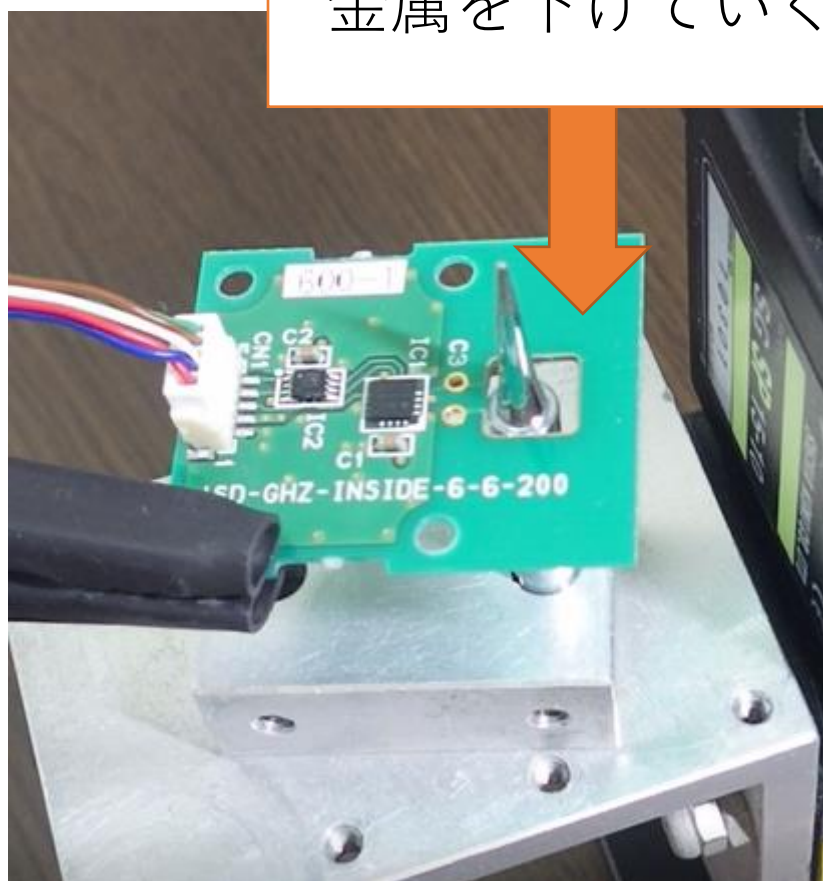
## コイルパターン2 穴型

コイルを基板側面に配置して穴型にする事で、穴を通過する金属を計測する事ができます。通過計測に適しています。

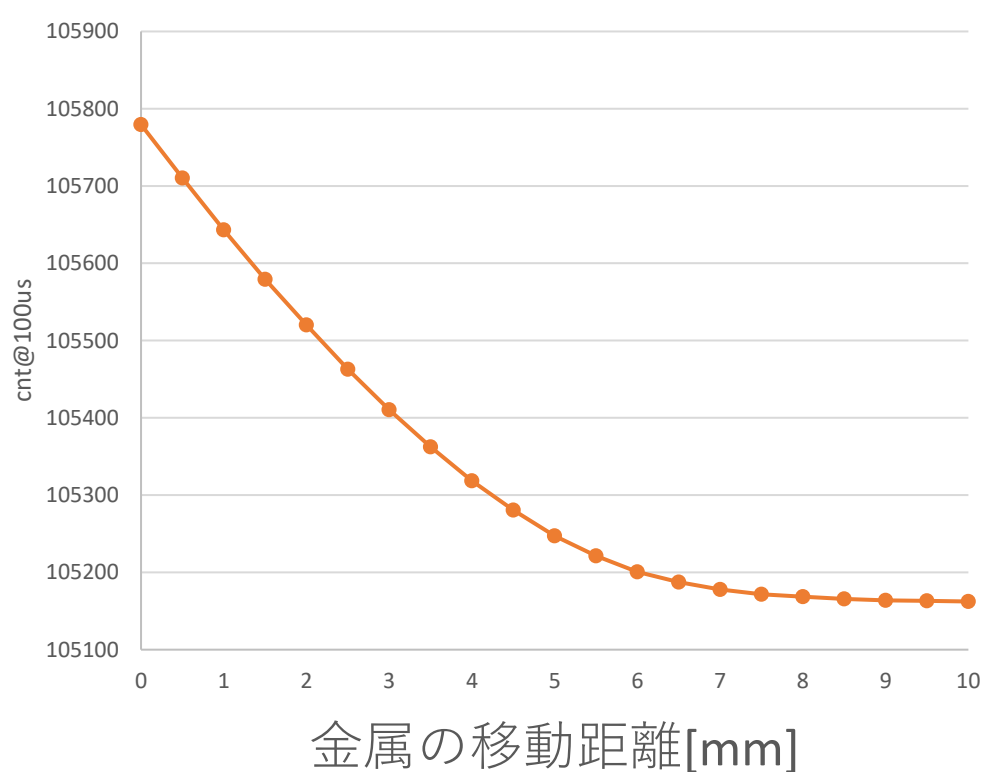


コイルは4mm角～20mm角で設計可能  
正方形以外では長方形、円形の形状も可能  
評価用サンプルは6mm角、8mm角、 $2.7 \times 27\text{mm}$ を用意

金属を下げていく

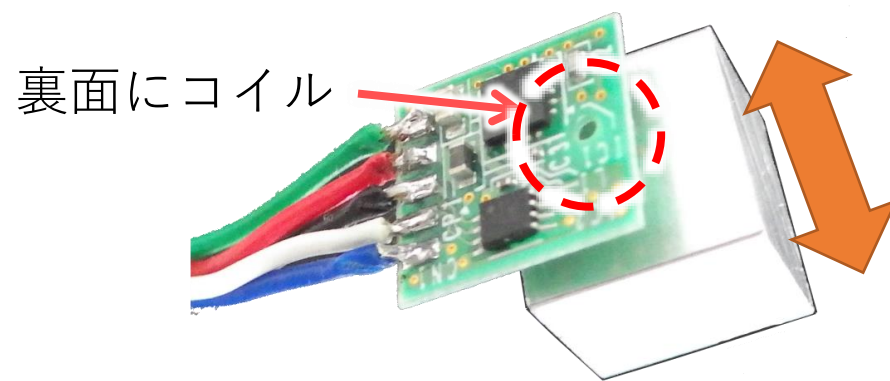


センサ出力値



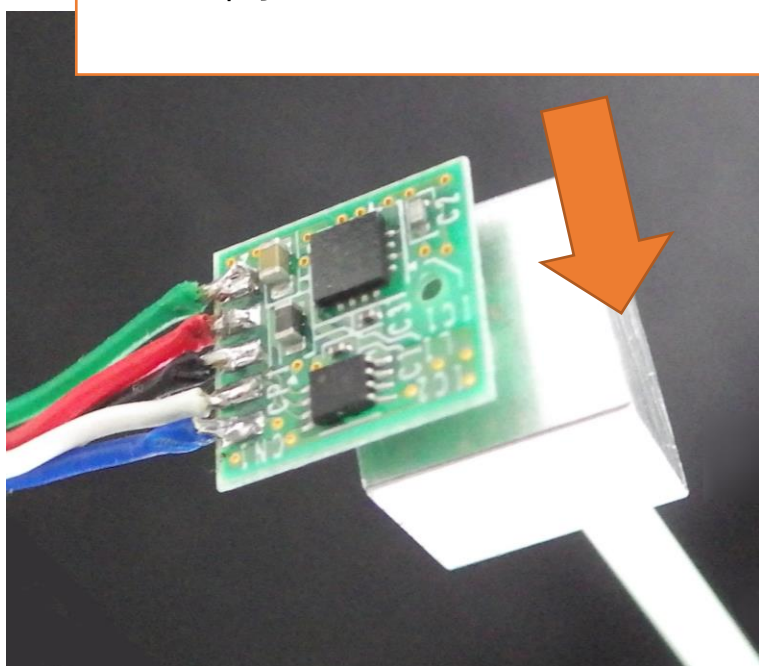
## コイルパターン3 平面

コイルを従来と同じく基板平面に配置します。金属接近時の分解能は従来よりも向上します。

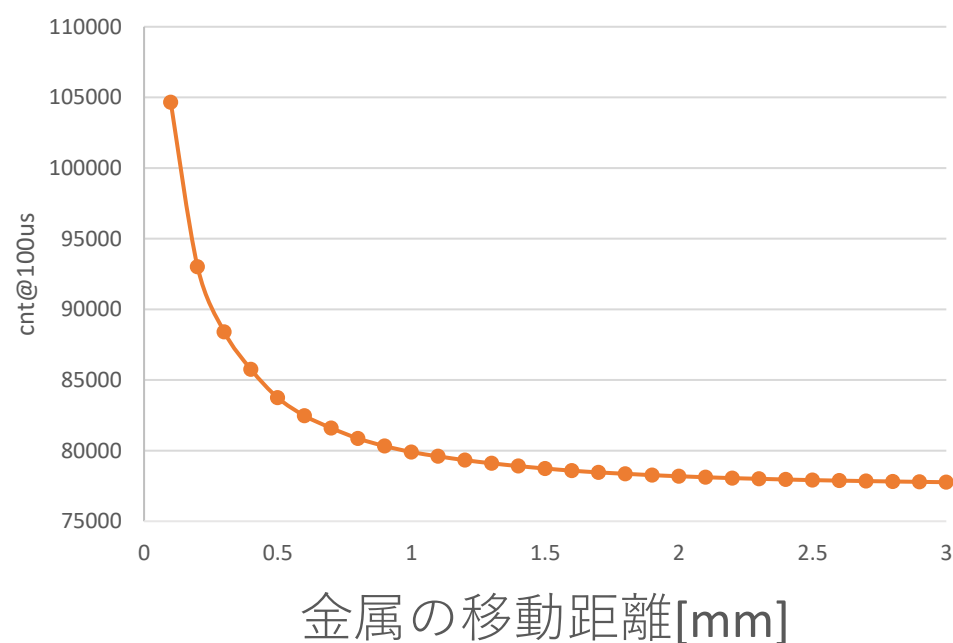


コイルは $\phi 3\text{mm}$ ～ $\phi 20\text{mm}$ で設計可能  
円形以外では正方形、長方形の形状も可能  
評価用サンプルは $\phi 3\text{mm}$ 、 $\phi 8\text{mm}$ 、 $\phi 20\text{mm}$ を用意 ※ $\phi 3$ のみ半田付けタイプ

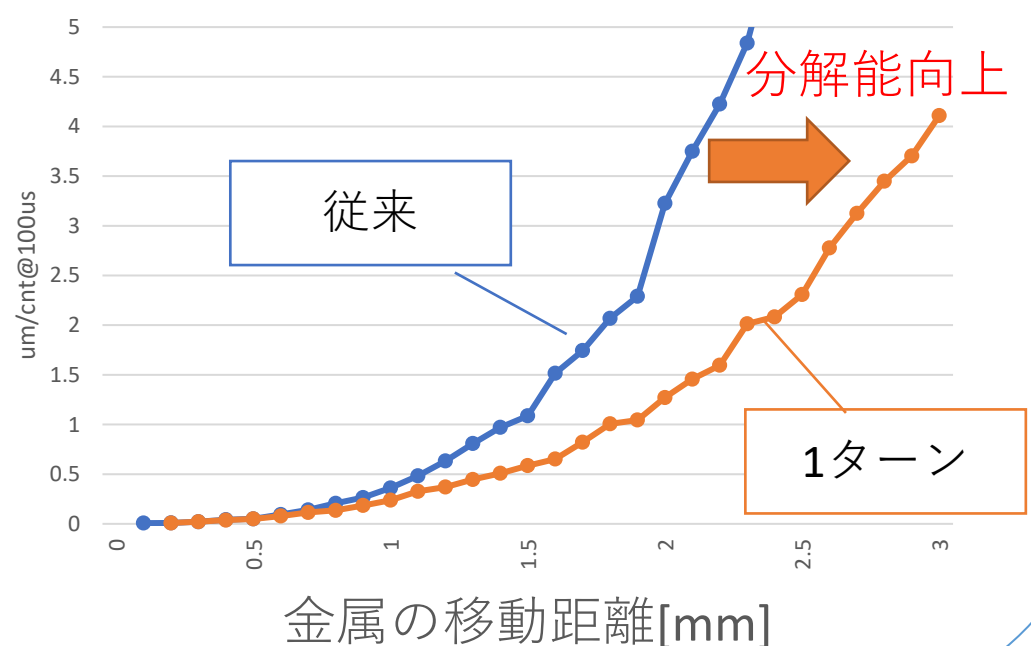
金属を遠ざけていく



センサ出力値



分解能



その他のコイル形状も相談承ります。

日本システム開発株式会社



JSD TEL:03-5471-5921

<https://www.sensingic.com/>

2022/11